

## ④9 増毛港屋根付き岸壁事業

受賞機関 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 留萌港湾事務所

**キーワード** 屋根付き岸壁、荷役作業の効率化、付加価値の高い水産物

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

水産物の荷役や荷さばき作業を行う屋根付き岸壁の整備。水産物の陸揚げから出荷までに必要なスペースを考慮するなど利用面を考慮して工夫した設計を行っており、荷役設備の設置撤去作業が解消されたことで、荷役作業の効率化が図られたとともに、水産物の付加価値の向上に資する成果が明確に現れている点が評価された。

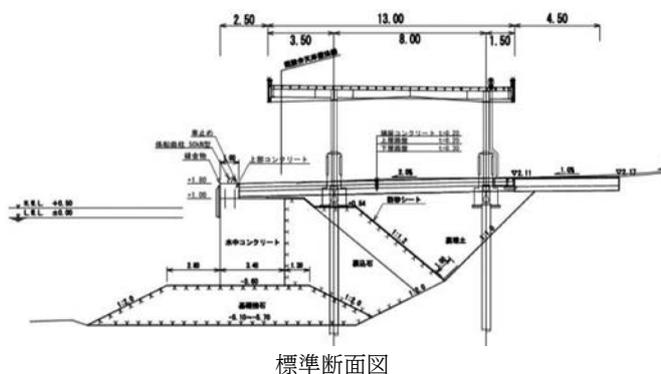
### 1. はじめに

増毛港は、北海道留萌管内南部の日本海側に位置し、増毛町が管理する地方港湾である。当該港湾は、地域の生活や産業を支える重要な役割を担っており、ホタテガイや甘エビ、タコ、サケ等の沿岸漁業基地として、水産加工業と連携した地域経済活動が営まれている。

近年は、ホタテガイ（活貝）・サケ等が中国・韓国等に輸出され、地域の水産業が活発化している。このため増毛町は、水産物の輸出促進を図るため、増毛港農水産物輸出促進計画の承認を受け、地元利用者による衛生管理マニュアルの策定及び製氷貯氷施設の建設に加えて、国による直轄事業にて屋根付き岸壁を整備し、地域が一体となった取り組みを進めたものである。

### 2. 事業の概要

本事業の実施にあたり新たに策定された衛生管理マニュアルを踏まえ、サケの陸揚げ、岸壁上での選別、荷捌所への出荷用タンク移動等、屋根下での動線やゾーニングを踏まえた屋根施設の規模を設定すると共に、構造形式は屋根下での見通しの良さ、メンテナンス時における経済性も考慮して鉄骨造を採用した。



### 3. 事業の成果

屋根付き岸壁を整備したことで、選別台や荷役設備の設置や撤去作業が回避され、出荷用タンク置場や屋根施設背後に出荷用トラック（10t）の利用が可能となることで0.5hr/日以上での時間短縮となり、荷役作業の効率化を図ることができた。

現地観測による屋根の効果としては、屋根外の日射量は0.8kW/m<sup>2</sup>に対して、屋根下での日射量は0.4kW/m<sup>2</sup>と半減し、氷使用量削減によるコスト削減効果や水産物の鮮度保持が容易となることで、付加価値の高い水産物の搬出が可能となった。また、降雨や鳥の糞、鳥がサケの目玉をついばむ等の鳥獣被害が無くなり、水産物の品質や単価の向上が期待されるものである。

サケの陸揚げから出荷作業迄を屋根下で行うことで、衛生面が強化され、安全安心で付加価値の高い水産物の輸出が促進されるとともに、価格形成の安定化が図られるものである。



サケの陸揚げ状況

### 4. おわりに

本事業は、屋根により鳥獣被害、直射日光等を防ぐと共に、滅菌海水装置の導入等と合わせて、衛生管理水準が高度化され、増毛港衛生管理マニュアルに即した施設利用により、さらなる輸出促進を目指すものである。これらの取り組みは、工事関係者や関係機関の皆様のご理解・ご協力によるところであり、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。